

## 陸上自衛隊V-22オスプレイの与那国駐屯地における機体の一部損傷について (口頭要請)

令和6年10月27日に、陸上自衛隊第1ヘリコプター団所属の航空機V-22オスプレイ1機が、令和6年度日米共同統合演習(KS25)における訓練で沖縄県にある与那国駐屯地を離陸しようとしたところ、機体が左右に揺れた不安定な状況となり、左翼下部が地面と接触し、機体の一部が損傷したため、飛行を中止し、駐屯地内に着陸しました。陸上自衛隊V-22オスプレイは立川飛行場への訓練も実施されていることから、機体の一部が損傷するに至った事態については、周辺住民に不安を与えるものです。

貴職においては、このような状況を十分に認識され、次のとおり対応するよう要請します。

- 1 今回の事故の経緯、原因及び再発防止策を踏まえた対応策を明らかにすること。
- 2 陸上自衛隊V-22オスプレイの点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 3 原因が判明し、再発防止策がとられるまでの間は、陸上自衛隊V-22オスプレイの飛行を見合わせること。
- 4 上記1及び2に関する情報を立川飛行場周辺自治体に速やかに提供すること。
- 5 陸上自衛隊V-22オスプレイに対する立川飛行場周辺住民の不安に対し、国の責任において丁寧な説明を行うこと。

令和6年10月29日

北関東防衛局長 森 浩久 殿

立川飛行場周辺自治体連絡会構成市長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
小平市長	小林洋子
日野市長	大坪冬彦
国分寺市長	井澤邦夫
国立市長	永見理夫
東大和市長	和地仁美
武蔵村山市長	山崎泰大

幹事 立川市長 酒井大史